

専徳寺報

〒740-0044 岩国市通津2764
☎0827-38-1124 FAX38-1000

<http://sentokuji-iwakuni.net/>

専徳寺

検索

第414号

平成26年11月1日発行

浄土真宗本願寺派

専徳寺

専徳寺納骨堂受付中

- 法座当番：藤生地区
はがき 年回忌のあつたお家へ送ります。宜しく記帳（故人名と回忌）ください。
- 永代経法要供養

永代経法要供養はがき
～忘れない～

今年は 故人名〔 〕様の〔 〕回忌です。あなたを偲ぶ法要が本堂でつとまります。法要に随喜のはがきをお供えします。

施主名〔 〕

〔お供えの言葉記入欄〕

法要中は幕前にお供えし法要後には外陣の追悼板にお供えします。

11月13日(木)
夜 7時半～9時
14日(金) 昼 1時半～3時半

「」講師

本願寺派布教使 服部 法樹 師（吳市）

日 時

お経は誰の為にあるのでしょうか？
故人や先祖ではありません。その方々を御縁として、他でも無いこの私が聞き育てられていくのが仏さまの言葉「お経」です。そしてその『経』を後世『永代』に伝えるための法要が、浄土真宗の『永代経』法要です。伝える為には、やはり私が聴聞しなければ。
報恩講・降誕会に並ぶ大切な法要です。どうぞご参詣・お聴聞ください。

覺如上人（本願寺第三代門主）

※あはれみ：阿弥陀仏の大慈悲心
※物にほどこす：私たち物が慈悲に触れて救われる事
〔意味〕……お慈悲の救いの相以外に、どこに阿弥陀さまのお姿があるのでしょうか。お慈悲が仏さまのものなのです。

現代の私たちは、ともすると、金銭問題で身を亡ぼしがちです。毎日の新聞やニュースが伝えるものも、全ては金銭の虧損となっているから起こすのではないでしようか。
特に、私たち僧侶は、金儲けを考えたりしたら、すぐなくとも宗祖親鸞聖人の弟子ではないでしよう。宗祖は、金儲けよりも、何よりもみ教えが伝わることを大切にお考えになっていました。それは、二十年住みなれた関東を去つて、京都に帰られて、「さて、生活はどうなるか」など、ひとつもお考えにならず、ひたすら『教行信証』の完成に全力を注がれたことにもよく表れているでしよう。

こうしてご製作くださった『教行信証』や『ご和讃』などのお聖教が、今日に及んだことをありがたく承して、大慈悲のみ仏の大きなみ心を、私たちが全ての人々にお伝えするよう、努力してゆかねばならないと思います。

（佐々木才正『珠玉のことば』（昭和58年）より）

永代経法要

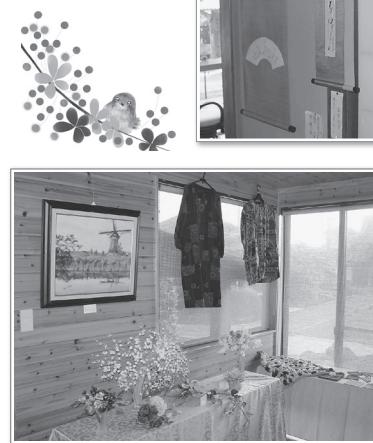
あはれみを物にほどこす心より
ほかにほとけのすがたやはある

秋の展示会

今年で4回目となります「専徳寺秋の展示会」。
今年多くの方が出展くださいました。

【出展者】

- 小方麻紀子(油絵)
- 木村智恵子・裕見子(手芸)
- 小村 春江(油絵)
- 塩中 幸枝(刺繡画・手芸)
- 下村 和夫(水彩画)
- 通谷 尚子(帽子)
- 土井智恵子(押し花)
- 藤重 利子(書)
- 藤本 武夫(陶器)
- 村岡房江・恭子(布花)
- 村中 恵子(油絵)



寺内だより

阿弥陀様にいだかれて〔葬儀勤修〕

9月14日御往生

青木 弘本 斐子様 (76)
喪主 弘本 秀彦様

9月25日御往生

黒磯 白木マツエ様 (95)
喪主 木村ハル工様

10月4日御往生

青木 中島 祐一様 (90)
喪主 中島 辰夫様

10月4日御往生

青木 木村 進様 (92)
喪主 後藤奈良市様

10月5日御往生

通津 橋口 茂利様 (80)
喪主 橋口 征一様

10月12日御往生

通津 兼国 常子様 (86)
喪主 兼国 幸満様

ご恩を偲びて〔法事勤修〕(9月1日～10月26日)

【通津】 清水邦博 13、上岡峯夫 13、原多富枝 13、

松本初江 3、竹中信子 7、兼国幸満 3、中田弘子

13、畠正明 33、【青木】木村進 33・33、土井則

之 100、大原久子 25、【黒磯】森重好子 50、藤重博

50、【藤生】野原誠 17、藤中英紀 3・25、藤中文

25、江 33、【南岩国】大崎三雄 7、【海士路】古江益嵩

1、【東京】大倉育信 1、
大沢敏夫 13、菅原道康 3、中西聰 3、【広島】麻

村淳子 3、河村廣志 3、土井祥穏 13、豊島純一

ご報告いたします

岩国組秋季仏婦研修会 10月17日

【会所】本能寺、【講師】加藤一英師、【参加者】

河本多喜子、木村裕見子、村岡房江、通谷みえ子、
塩中幸枝、深井絹代、前坊守

秋讀仏会法要余香 9月26・27日

【講師】成照星師、【参詣者】(26日)昼座 115名、

夜座 28名、(27日)昼座 77名、【お鉢米】木村勲、
津秋武彦、森上芳江【お供え】河村アサ子

第11期連研終了 10月18日

毎月一回、計14回の研修を通じて38名の方が浄土真宗のみ教えを学びました。専徳寺も6名の方が無事に修了されました。おめでとうございます。

【修了者】河本多喜子(本町)、木村裕見子(青木)、
末広皓子(新町)、高重八重子(青木)、藤中康子(青木)、村中久子(新町)



記念写真 光福寺(岩国)にて